

第3章 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組 1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

取組内容

緑地保全制度に基づく地区指定による樹林地の保全

土地所有者ができるだけ樹林地を持ち続けられるよう、固定資産税等の減免などの優遇措置の適用や維持管理などの負担軽減が可能となる緑地保全制度による指定を進め、樹林地等を保全します。

土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

特別緑地保全地区の指定地等で、所有者に不測の事態等が発生し、市へ土地の買入れ申し出があった場合に、市が買取りに対応します。

保全した樹林地の整備

市民の森や市が取得した樹林地について、良好に維持管理するため、管理に必要なスペースの確保、柵の設置やのり面の安全対策、越境している樹木等のせん定や間伐などを行います。また、市民の森では、散策路などの市民が自然に親しむための施設の整備を行います。

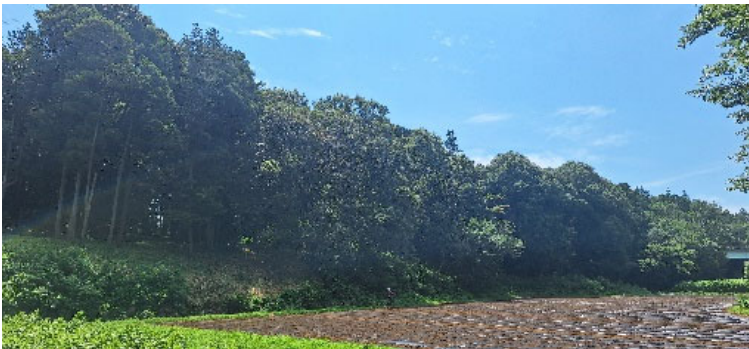
2024年度の実績

進捗状況	緑地保全制度による新規指定	市による買取り	保全した樹林地の整備	事業費執行状況	事業費	うち横浜みどり税
2024年度実績	49.5ha	7.2ha	推進	2024年度決算額	4,099百万円	974百万円
5か年の目標	180ha	100ha(想定)	推進	5か年の計画額	25,166百万円	3,706百万円
進捗率	27.5%	7.2%	-	執行率	16.3%	26.3%

実績の概要

緑地保全制度による新規指定

旭区の追分特別緑地保全地区や磯子区の円海山近郊緑地特別保全地区など、49.5haを新規指定しました。



追分特別緑地保全地区(旭区)

市による買取り

緑区の新治市民の森や、泉区の和泉町大坪特別緑地保全地区などで7.2haを買取りました。



和泉町大坪特別緑地保全地区(泉区)

保全した樹林地の整備

市民の森や特別緑地保全地区等の樹林地における、斜面地の安全性を高めるためののり面整備工事に向けて、地質調査や測量、詳細設計などを行いました。また、がけ地等での防災工事や、住宅等に越境した樹木のせん定、伐採作業を実施しました。劣化した木製の柵や階段を擬木の製品に更新して、長く使えるように整備したほか、樹林地の保全範囲を明示するための柵や土砂流出等を未然に防ぐための土留め、管理車両用の駐車スペース等の整備を進めました。

また、市民の森の散策路や野外卓、案内板などを設計したほか、散策路などの工事を進めました。



園路の整備(港南区)



土留めの設置(旭区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

緑地保全制度による新規指定

緑地保全制度の情報を必要な方に届けられるよう、土地所有者を訪問して直接働きかけるだけでなく、土地や財産管理等の相談を受ける機会の多いJA横浜に緑地保全制度を紹介するなど、様々な方法により周知しました。

保全した樹林地の整備

金沢区の(仮称)富岡東三丁目市民の森では、隣接する公園と一体的に回遊できる空間を整備するため、周辺の地形や施設の状況を踏まえた園路設計を行いました。

また、朝比奈特別緑地保全地区では、安全確保と緑の保全の両立を図るために緑化を含む対策工法を採用し、景観にも配慮しながら、がけ地を整備しました。

市民推進会議からの評価コメント

緑地保全制度による新規指定

緑地保全制度に関する案内をいただきますが、制度が複雑でわかりにくいと感じています。パンフレット等を用いての説明に加えて、市による説明会や、JA横浜など土地所有者に身近なところからの説明を通じて、積極的な制度案内に取り組んでください。

保全した樹林地の整備

買取り直後や手続中の樹林地では、立ち入ってはいけない場所に人が入り込んでしまう場合もあるようです。まずは、柵や看板の設置などにより、市が買い取ったまたは買取り手続き中の樹林地であることをわかりやすく周知することを検討してください。

土地所有者の声



代々受け継いできた樹林地を残したいが、維持管理の負担が大きい。
緑地保全制度の指定を受けて、今後も樹林地を守っていきたい。

今後の進め方

緑地保全制度による新規指定

緑地保全制度に基づく緑地の指定にあたっては、過去に制度をご案内したものの、指定に至らなかった土地所有者に対し、改めて働きかけを進めます。さらに、既に指定した樹林地に隣接する土地の所有者に積極的に働きかけることで、よりまとまりのある大きな樹林地として保全できるよう取り組んでいきます。制度等のご案内に当たっては、わかりやすさに一層留意し工夫していきます。

また、JA横浜など、土地所有者にとって関連のある団体を通じた説明をはじめ、様々な機会をとらえて、効果的な制度の周知に取り組んでいきます。

保全した樹林地の整備

これまでに地域の意見を伺いながら設計等を進めた市民の森において、開園に向けた工事に着手しました。今後とも、地域の皆様が安全で快適に楽しめる市民の森となるよう、必要な整備を推進していきます。また、取得直後の緑地については、必要に応じて仮設柵の設置や現地での周知等、立ち入りを防止する取組を進めていきます。

取組 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

取組内容

森の維持管理

市民の森、ふれあいの樹林、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林地を対象に、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災、地球温暖化対策への寄与など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。

森づくりにあたっては、地域の特性等を踏まえて策定した保全管理計画や森づくりガイドラインに沿って、愛護会など多様な主体と連携しながら実施します。

2024年度の実績

進捗状況

事業費執行状況

森の維持管理		事業費		うち横浜 みどり税
2024年度実績	推進	2024年度決算額	689百万円	679百万円
5か年の目標	推進	5か年の計画額	3,783百万円	3,763百万円
進捗率	-	執行率	18.2%	18.0%

実績の概要

森の維持管理

市民の森や公園利用者の安全を図るため、危険樹木の伐採やせん定を行いました。住宅地などに接している箇所では、越境した枝のせん定や、外周部の草刈りなどを行うことで、周辺住民の安全を確保するとともに理解や協力を得ることができました。

また、緑区の上山ふれあいの樹林では、地元愛護会と連携しながら保全管理計画を策定しました。



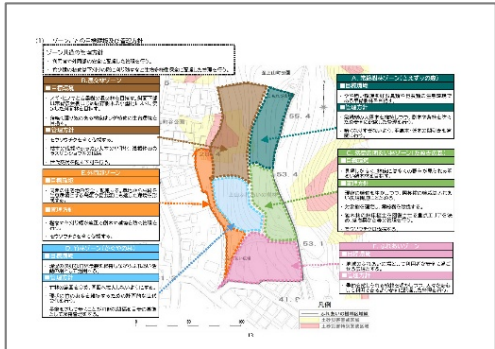
道路沿いの草刈りの実施
(杉田坪呑緑地 磯子区)



隣接地沿いの草刈りの実施
(鴨志田公園 青葉区)



保全管理計画の策定に向けた
現場での打合せ
(上山ふれあいの樹林 緑区)



策定した保全管理計画
(上山ふれあいの樹林 緑区)



保全管理計画
フォローアップ研修
(柏町市民の森 旭区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

森の維持管理

旭区の今宿市民の森や鶴ヶ峰ふれあいの樹林などでは、保全管理計画策定後のフォローアップ研修等を通じて、樹林地の維持管理担当者や各地の愛護会の方々が、生物多様性や希少植物等の保全に対する理解を深めることができました。

良好な森づくりには、多様な主体との連携や、愛護会の方々が活動できるような継続支援が必要になります。今後も、愛護会の方々が活動継続できるよう、様々な支援方法の検討に取り組んでいきます。

市民推進会議からの評価コメント

森の維持管理

地球温暖化の影響により、樹林地の状況が変化しつつあります。樹林地の抱える課題の変化に対応したみどり税の活用を検討してください。

個々の実情にあわせて策定する保全管理計画は、他都市ではあまり見ない取組として評価しています。引き続き推進してください。

「良好な森」とは、市民が安全・快適に入れて楽しめる場だと考えています。動植物を育む手つかずの自然を残しつつ、散策路の周りは明るくする等の先を見据えた維持管理を引き続き進めてください。

今後の進め方

森の維持管理

より多くの市民の方々に参加いただき、地域や愛護会との連携も深められるよう、安全で心地よい樹林地を目指して、森づくりの取組を進めていきます。

また、将来とも良好な樹林地を維持していくため、樹林地ごとに変化している課題に留意し、維持管理作業に反映していきます。



取組 3 指定した樹林地における維持管理の支援

取組内容

維持管理の助成

樹林地を所有する方の維持管理負担を軽減し、樹林地の安全性の向上などを図るため、緑地保全制度により指定した樹林地の外周部で土地所有者が行う危険・支障樹木のせん定・伐採、草刈りなどの管理作業や、樹林地内部の倒木や枯れ木の撤去処分、台風による被害に対する作業などの費用の一部を助成します。

2024年度の実績

進捗状況

事業費執行状況

維持管理の助成		事業費	うち横浜 みどり税
2024年度実績	134件	2024年度決算額	137百万円
5か年の目標	750件	5か年の計画額	836百万円
進捗率	17.9%	執行率	16.4%

実績の概要

維持管理の助成

樹林地の外周部における樹木のせん定・伐採、竹林の伐採や、草刈り、土砂流出防止等のための土留めや不法投棄防止等のためのフェンスの設置など、134件の維持管理の助成を行い、土地所有者の維持管理負担を軽減しました。



維持管理の助成を行った
樹林地(南区)



維持管理の助成を行った
樹林地(保土ヶ谷区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

維持管理の助成

2024年度よりホームページからの電子申請の受付を開始し、申請者の事務の手間や書類送付にかかる費用の負担を減らすことができました。

台風被害に対する維持管理の助成について、近年の風水害の状況を踏まえ、台風以外の風水雪害の被害に対しても助成が適用できるよう、要綱を改正しました。引き続き、所有者のニーズ踏まえて柔軟に対応していきます。

維持管理の助成利用者の声



自分の手では作業ができない箇所について制度を活用することで、維持管理の負担が軽減しました。

書類の作成に手間がかかりましたが、施工をお願いした造園業者にも相談して、無事に作業を終えることができました。

今後の進め方

維持管理の助成

夏季の気温上昇や自然災害が激甚化しているなか、土地所有者の維持管理への負担を軽減し、未然の被害防止につなげていくため、今後とも従来の維持管理助成に加えて、風水雪害の被害に対する助成制度についても多くの方々に周知していきます。また、必要となる制度の改良に向けた検討を進めていきます。



取組 4 森づくりを担う人材の育成

取組内容

森づくりを担う人材の育成

森づくりボランティアの登録者や森づくり活動に取り組む団体を対象に、基本的な知識と安全確保を学ぶための研修や、活動のスキルアップのための研修を開催します。また、市民が森づくり活動に気軽に参加できる機会をつくるとともに、個人の森づくりボランティアと愛護会や森づくり活動団体との橋渡しの取組を進めます。

広報誌等での森づくり活動に関する情報発信

ニュースレターやウェブサイトを活用し、森づくりに関する情報発信を行います。

2024年度の実績

進捗状況

	森づくりを担う 人材の育成	広報誌等での森づくり 活動に関する情報発信
2024年度実績	10回	4回
5か年の目標	50回	20回
進捗率	20.0%	20.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	11百万円	11百万円
5か年の計画額	78百万円	78百万円
執行率	14.1%	14.1%

実績の概要

森づくりを担う人材の育成

研修や森づくり体験会を実施し、市民の森づくり活動を促進しました。森づくりボランティアの活動に対して、基本的な研修からスキルアップのための研修など幅広い研修や体験会プランを設けることで、様々な世代の方に森づくりに関わってもらうことができました。



森づくり体験会(戸塚区)



安全管理研修(旭区)



横浜市の森づくり塾！
(緑区)

広報誌等での森づくり活動に関する情報発信

ニュースレターを4回発行したほか、ウェブサイトを活用した森づくりに関する情報発信を行い、森づくりボランティアや森づくり活動団体の活動の円滑化や活性化につなげました。



よこはまの森ニュースレター
(第121号 表面)



よこはまの森ニュースレター
(第121号 裏面)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

森づくりを担う人材の育成

森づくり活動団体向けの安全管理研修で安全管理マニュアル作りについて紹介し、多くの団体に樹林地ごとのマニュアルを作成していただき、安全への意識を高め、事故の予防に役立てています。

より多くの方に安全な森づくり活動の基礎を学んでいただくため、eラーニングでの研修を実施しました。

また、森づくりボランティアのほか、若い世代の方にも森づくり活動に関わっていただけるよう、大学生向けの研修を実施しました。

広報誌等での森づくり活動に関する情報発信

ニュースレターやウェブサイトを活用し、森づくりに関する情報発信を行っています。団体の活動紹介を充実させることや森に親しみやすいトピックを紹介することで、読者の興味を引き、森づくり活動への理解を深めてもらうことで、団体の活動への参加を促しました。

森づくり体験会参加者の声



作業前の安全確認について教えていただき、安心して作業に入れました。

地元に貢献できたと感じることができ、とても良かったです。

今後の進め方

森づくりを担う人材の育成

市民の方々が森づくり活動に求める内容は親子による入門体験や愛護会による活動など多岐にわたることから、より多くの市民の方々の多様なニーズに対応できるよう、体験会やボランティア派遣等の形を今後も改良していきます。

研修のあり方についても、さらに参加しやすく充実した内容になるよう取組を進めます。

広報誌等での森づくり活動に関する情報発信

森づくりボランティアや活動団体に向けた情報発信については、よこはまの森ニュースレターやウェブサイトだけでなくチラシやSNSなどを活用して、より多くの市民に向けて森づくり活動の情報提供を進めていきます。

取組 5 森づくり活動団体への支援

取組内容

森づくり活動団体への支援

市民の森や都市公園内のまとまった樹林で活動する団体を対象に、森づくりに必要な道具の貸出しを行います。また、活動に対する助成などの支援を行います。

また、維持管理作業の際に発生した間伐材などを樹林地内でチップ化したり、樹名板を作成するなどの活用を推進します。

2024年度の実績

進捗状況

	森づくり活動団体への支援
2024年度実績	36団体
5か年の目標	175団体
進捗率	20.6%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	10百万円	9百万円
5か年の計画額	42百万円	37百万円
執行率	23.8%	24.3%

実績の概要

森づくり活動団体への支援

市民の森や都市公園内のまとまった樹林で活動する団体に対し、森づくり活動に必要な道具の貸出しや樹木の伐採、刈払機の使用等に係る外部研修の受講費用の助成を行うなど、各団体の森づくり活動への支援を行いました。

また、維持管理作業の際に発生した間伐材などを樹林地内でチップ化する団体に対し、機械(チップーシュレッダー)の貸出しなどの支援を実施し、間伐材などの有効活用を図りました。



外部講師を招いた樹木の伐採作業への支援(旭区)



間伐材のチップ化(金沢区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

森づくり活動団体への支援

森づくりに必要な道具の貸出しメニューに、新たに呼子笛(よびこぶえ)や移植ごて、竹割り器を加えました。また、携帯式のAED(自動体外式除細動器)の貸出しを新たに2団体に行いました。

森づくり活動に対する助成制度については、樹木の伐採や刈払機の使用等に係る外部研修の受講費用を、助成金の対象に追加しました。

維持管理作業で発生する間伐材を樹林地内でチップ化するための機械(チップパーシュレッダー)の貸出しに対して、例年以上の新規申込みがありました。初めて利用する団体には、安全に使用できるように、事前見学や研修を実施しました。

土地所有者や参加者の声



作業研修で実際に竹割り器を使用して、簡単に楽しく作業ができました。次回はずいぶん貸出しを受けたいと思いました。

間伐材のチップ化作業支援を受けるのは初めてでしたが、事前に作業の見学や、研修を受けたことにより、間伐材の集積や周辺住民への周知など、事前の準備をしっかりと行って支援を受けることができました。

今後の進め方

森づくり活動団体への支援

今後とも、森づくり活動団体のニーズや安全対策上の必要性を把握しながら、適宜、必要な道具を選定し、貸出し等の対応を進めます。

活動に対する助成や、専門家派遣による支援などの内容を見直ししながら、森づくり活動の安全確保や間伐材などの有効活用を進めます。



取組 6 森に関わるきっかけづくり

取組内容

多様な主体と連携した楽しみづくり

地域に根差した各区での取組や大学など多様な主体と連携したイベントや広報の取組を進めます。また、森を活用した体験や学習ができる仕組みづくりなど、学校と連携した森を楽しむきっかけづくりに取り組みます。

ウェルカムセンターの運営

ウェルカムセンターにおける展示解説や自然体験、環境学習の機会の提供等を、企業のCSR活動などと連携しながら実施し、基本的な森の楽しみ方から森の魅力まで、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。

森に関する情報発信

市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。

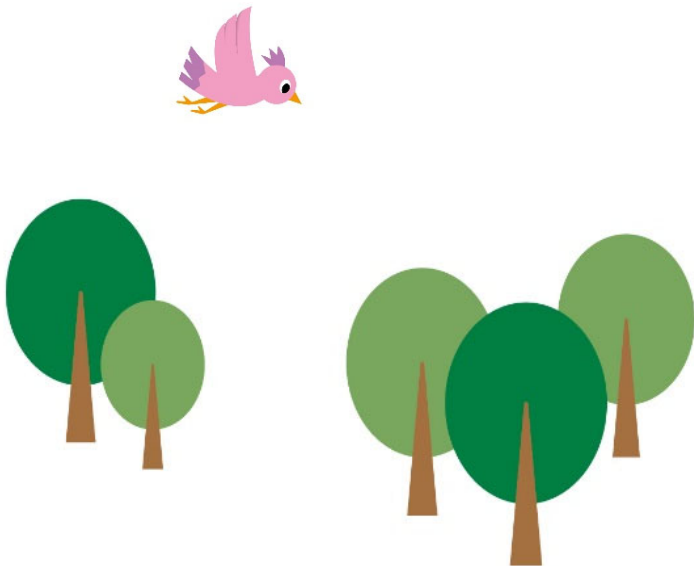
2024年度の実績

進捗状況

	市内大学や関係団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施	学校と連携したきっかけづくり	ウェルカムセンターでの森のマナーアップにつながるイベント等
2024年度実績	115回	推進	10回
5か年の目標	180回	推進	50回
進捗率	63.9%	-	20.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2024年度決算額	52百万円	14百万円
5か年の計画額	315百万円	115百万円
執行率	16.5%	12.2%



実績の概要

市内大学や関係団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの開催

市内大学や関係団体等との連携や、区主催によるイベントを115回開催しました。

市内大学と連携した「よこはま森の楽校」や、子どもたちが自然や生き物に対する理解を深め、横浜の森について考えることができるネイチャーゲームを組み入れたイベントを市立図書館と共催しました。

また、市内の樹林地を手入れする際に発生した間伐材を活用したクラフトキットを作成し、市内各所でのクラフト教室の開催や、各種イベントでの配布によって、木にふれあう機会をつくりました。



森のネイチャーゲーム(瀬谷区)



クラフト教室(鶴見区)

学校と連携したきっかけづくり

環境活動支援センターでは、横浜市児童遊園地内の緑地等をフィールドにした環境教育として、近隣小学校での出前授業を東京都市大学と連携して実施しました。

出前授業は、昆虫の体のつくりや生態、在来種と外来種の違いについて学ぶ講義と、カードゲームという遊び要素の組み合わせで、子どもたちの森の生き物や自然への理解を深める内容としました。

東京都市大学の学生が講座で使用したカードゲームを制作し、講師役を務めました。



学生が講師を務める
出前授業(保土ケ谷区)



出前授業での
カードゲームの様子(保土ケ谷区)

ウェルカムセンターでの森のマナーアップにつながるイベント等

ウェルカムセンター各館において、森のマナーアップに関するイベントや展示を行いました。



マナー啓発展(保土ケ谷区)



マナーアップのチラシ(緑区)

取組がもたらす
緑の効果・機能多様な
生き物の
すみか美しく
潤いのある
景観健康づくり・
コミュニティ自然・
農体験暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

市内大学や関係団体などとの連携や区主催によるイベントの実施

市内大学との連携事業では、森に関わるイベントの実施形態などに応じて大学への助成額を増やし、大学側の負担軽減に取り組みました。また、市立図書館と連携した森のネイチャーゲーム事業では、イベントの参加対象者である小学生だけでなく、ネイチャーゲームに興味をもつ大学生が講師役として参加できるようにして、幅広い年齢層に森に関わるきっかけを提供しました。

学校と連携したきっかけづくり

通常の応募型のイベントと異なり、小学校のクラス単位の授業では、興味のない子どもたちも含まれると考えられましたが、ゲーム要素を取り入れた「遊び」を通じて「学んで」もらうことで、より多くの子どもたちの理解と関心を自然に高めることができました。講座後は、子どもたちが身近な外来種について会話をしている様子が見られ、事業の効果を実感しています。

ウェルカムセンターでの森のマナーアップにつながるイベント等

パネルやチラシを作成するなど参加者が楽しみながら森のマナーについて学べるイベントを行いました。

また、外来種の生体展示など、来場者の興味を引く工夫を取り入れながら、様々な手法で森のマナーについて啓発を行いました。

市民推進会議からの評価コメント

これまで樹林地に関わってこなかった人にも知ってもらえるよう区役所などの多くの方が利用する場所に市民の森ガイドマップを配架することで、興味を持ってもらうための情報発信につながると考えています。

市民の森ガイドマップや保全管理計画に加え、個々の樹林地についての紹介や集めた情報も分かりやすく発信していけば、若者が樹林地へ興味を持つきっかけになるのではないのでしょうか。

参加した子どもや保護者の声



子どもが熱中できるイベントが多く良かった。大学生が優しく教えてくれた。

間伐材でできたキーホルダーを丁寧に色付けし、大切に持ち帰っていました。

身近にいる外来種を知ること、生きものをむやみに放してはいけないことを学びました。

今後の進め方

市内大学や関係団体などとの連携や区主催によるイベントの実施

市内大学と連携したイベントでは、周知や広報の手段について検討を進め、より多くの方々が参加しやすいような環境づくりに取り組みます。また、各区での催しでは、クラフト教室をはじめ、現在のイベントをさらに充実させた内容を実施できるよう進めていきます。

ウェルカムセンターでの森のマナーアップにつながるイベント等

市民の森等におけるルールやマナーの周知のため、引き続き、現地をはじめ、ウェブサイト、ガイドマップ等を活用して、フィールドマナーについて情報発信します。ウェルカムセンターでは、森のマナーアップに関する子ども向けの展示を各館で行い、啓発に力を入れていきます。

取組 7 森の多様な楽しみづくり

取組内容

市民の森の開園

保全した森を、地域との連携や必要な整備等を行い「市民の森」として開園し、市民が自然に親しみ、憩える場として活用していきます。

地域における多様な森の利活用

森の機能を保ち、魅力を高めるため、樹林地周辺の施設や環境等の状況を踏まえた利活用計画の検討や地域における多様な森の利活用を進めます。

2024年度の実績

進捗状況

	市民の森の開園	地域における 多様な森の利活用
2024年度実績	0か所	推進
5か年の目標	5か所	推進
進捗率	0.0%	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	4百万円	4百万円
5か年の計画額	30百万円	30百万円
執行率	13.3%	13.3%

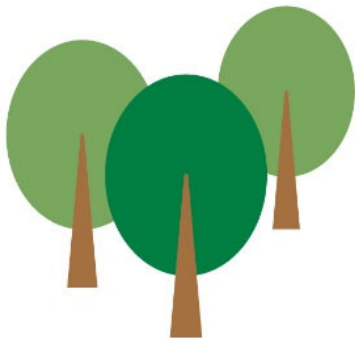
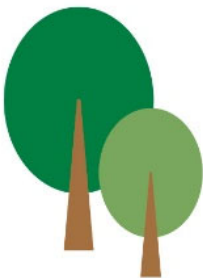
実績の概要

市民の森の開園

2024年度に開園した市民の森はありませんが、5か所の予定地で市民の森の開園に向けた設計や一部工事を進めています。

地域における多様な森の利活用

樹林地周辺の施設や環境などの情報を整理するほか、他都市における利活用事例について調査し、横浜という都市の樹林地としての特性を活かした利活用計画について検討しました。



取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

市民の森の開園

市民の森の開園に向け、現在5か所の予定地で樹林地の自然条件や周囲の環境などの特色を踏まえた基本計画の策定や、地域との協議を進めており、整備に一部着手しました。

地域における多様な森の利活用

樹林地をアクセス性や周囲の公共施設の有無などによりタイプを類型化し、樹林地を含めた一帯のエリアでどのような利活用がふさわしいのか検討を進めています。

森づくり体験会参加者の声



樹林地の中を散策して、自然とふれあえるようになるとよい。
子どもたちに緑を残すことが大切だと思う。

今後の進め方

市民の森の開園

早期開園を目指し、引き続き、地域との話し合いや緑地の特性や地域のニーズを反映した計画づくりを進めていきます。また、計画が定まった市民の森から、順次整備を進めます。

地域における多様な森の利活用

これまでの検討内容を踏まえて、森の多様な利活用に関する具体的な取組に順次着手し、暮らしの身近にある横浜の森の魅力を、より多くの市民に感じていただけるよう、事業を展開します。



取組 8 水田の保全

取組内容

水田の継続的な保全の支援

土地所有者が水田を維持し、水田景観の保全や多様な機能が発揮できるよう、水稻作付を10年間継続することを条件に、奨励金を交付します。また、保全された水田の維持管理に対する支援を行います。

良好な水田景観保全のための水源・水路の整備

水田景観の保全を図るために、井戸や水路等の水田に必要な施設等の整備を支援します。

2024年度の実績

進捗状況

	水田保全面積	水源・水路の整備
2024年度実績	112.5ha	3件
5か年の目標	115ha/年	25件
進捗率	97.8%	12.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	84百万円	47百万円
5か年の計画額	536百万円	236百万円
執行率	15.7%	19.9%

実績の概要

水田の継続的な保全の支援

市内の水田を112.5ha、目標面積の97.8%を保全しました。



青葉区寺家町



戸塚区東俣野町



泉区上飯田町



栄区田谷町

良好な水田景観保全のための水源・水路の整備

川の水を水田に引き込むための取水施設や、水田の排水性を改善するための水路など、水稻の栽培に欠かすことができない施設の整備を3件、支援しました。



水田の暗きょ排水の整備
(青葉区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

水田の継続的な保全の支援

市内の水田自体は減少傾向にありますが、新規申し出に向けた働きかけを丁寧に行ったことで、前年度の保全面積を上回ることができました。

良好な水田景観保全のための水源・水路の整備

水源や用水路の老朽化が進む中、劣化が進んだ箇所を優先して地区を選定し、支援を実施しました。

市民推進会議からの評価コメント

水田の継続的な保全の支援

みどりアップ計画の支援がなければ水田はここまで残っていなかったと思います。

水田の持つ生産機能に加え、生物多様性の保全などのさまざまな機能を発揮していくためにも、保全すべき水田を今後に残せるよう支援の継続をお願いします。

土地所有者の声



高齢で、水田の管理が難しくなっていたところ、市から事業案内があったので、利用することにしました。おかげで水田を維持することができています。

稲作にとって水は生命線であり、用水の確保は大変重要です。井戸や用水路の整備が進むことで、安心して営農を続けられます。

今後の進め方

水田の継続的な保全の支援

引き続き、土地所有者に新規申し出に向けた働きかけを行うとともに、あわせて水田の維持管理に対する支援も案内することで、水田保全面積の維持に努めます。

良好な水田景観保全のための水源・水路の整備

水田の風景を守るためには、実際に耕作している農家の皆様や、取水施設・用水路を維持管理している農業者団体の活動が欠かせません。こうした活動が今後も継続できるよう、地域の状況や要望を踏まえて、営農に必要な施設の老朽化対策などを進めていきます。

取組 9 特定農業用施設保全契約の締結

取組内容

特定農業用施設保全契約の締結

農地所有者の負担軽減と農地の保全を図るため、農地を10年間適正に管理することと、農地の保全に不可欠な農業用施設を10年間継続利用することを条件として、農家の住宅敷地内等にある農業用施設用地の固定資産税・都市計画税を10年間軽減します。

2024年度の実績

進捗状況

	特定農業用施設 保全契約の締結
2024年度実績	制度運用
5か年の目標	制度運用
進捗率	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	2百万円	-
5か年の計画額	10百万円	-
執行率	20.0%	-

実績の概要

特定農業用施設保全契約の締結

新規、更新あわせて24件の特定農業用施設保全契約を結び、農家の負担軽減と、営農の継続及び農地の保全につなげました。



農機具格納庫(緑区)



農機具格納庫(泉区)



出荷調整施設、農機具格納庫
(瀬谷区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

特定農業用施設保全契約の締結

概ね計画どおりの進捗となり、申し出に対して着実に対応しました。

制度開始から15年以上が経過していることから、制度の周知とともに、今後制度運用の振り返りも必要と考えています。

土地所有者の声



固定資産税が軽減されることで農地保全に対する意識が高まり、営農意欲につながっています。

今後の進め方

特定農業用施設保全契約の締結

引き続き、申し出に対する特定農業用施設保全契約の締結を進めます。JA横浜などと連携し制度の周知を図っていきます。



取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

取組内容

まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

良好な農景観を形成するため、水路等での清掃活動や農地縁辺部への植栽、水源を確保するための井戸の整備などに対して支援します。また、農地周辺の環境を良好に維持するため、土砂流出を防止する活動に対する支援や農地周辺の不法投棄対策を進めます。

周辺環境に配慮した活動への支援

都市の中で農景観を維持するためには、農地の周辺にお住まいの方々の農業への理解が必要です。このため、農地周辺の環境に配慮した取組や、農作業等により生じるせん定枝などをたい肥化する活動などに対して支援します。

2024年度の実績

進捗状況

	まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援			周辺環境に配慮した活動への支援	
	集団農地維持活動団体	農地縁辺部への植栽	農景観保全整備	環境配慮支援	緑肥作物等による環境対策
2024年度実績	57団体／年	23件	8件	5件	5.0ha
5か年の目標	60団体／年	75件	40件	25件	20ha
進捗率	95.0%	30.7%	20.0%	20.0%	25.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2024年度決算額	106百万円	10百万円
5か年の計画額	467百万円	67百万円
執行率	22.7%	14.9%

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

実績の概要

集団農地維持活動団体

57団体によって、農地周辺の草刈や水路清掃などの適正な管理が行われています。



舞岡農業専用地区協議会(戸塚区)

農地縁辺部への植栽

23団体が農地縁辺部等で景観植物の植栽管理などを行っており、農景観の保全が図られています。



折本農業専用地区観音山協議会(都筑区)

農景観保全整備

まとまりのある農地を維持するために必要な水源の整備や、畑からの土砂流出を防止する対策を支援しました。



畑に水を送るポンプの更新(都筑区)

環境配慮支援

農作業等により生じるせん定枝などをたい肥化する活動を5件支援しました。



チッパーシュレッダーの導入支援(栄区)

緑肥作物等による環境対策

土ぼこりの発生や耕作土の流失を防止するため、畑での緑肥作物等の栽培を5.0ha支援しました。



生育中の緑肥作物(港北区)

取組への工夫点・課題等

集団農地維持活動団体

農政事務所を通して、活動を行う農業者団体の確保に努めました。また、活動内容についての相談に丁寧に対応するなど、農地周辺の良好な景観維持につなげました。

農家の方の活動によって管理されている農景観を市民の皆様に楽しんでいただきたい半面、散策者が農地に立ち入ってしまうなど営農への影響が懸念されるため、マナー啓発等についても考えていく必要があります。

農地縁辺部への植栽

地区によっては、高齢化等により参加者が減少している農家団体があることから、参加者の確保に向けて、様々な機会を捉えて事業説明などを行いました。

農景観保全整備

施設の老朽化を背景に、ポンプの更新など数多くの要望があることから、整備の優先度を考慮しながら地区を選定し、取組を進めています。

環境配慮支援

ご要望の多かった、害虫を捕食する生物を用いた天敵農薬を補助メニューに追加し、化学農薬を低減させる取組を進めました。

緑肥作物等による環境対策

作付の少ない冬季の土ぼこり対策として、緑肥作物の栽培を支援しました。

冬から春に生育する秋まきの緑肥作物も事業対象となるよう、制度の変更を行いました。

市民推進会議からの評価コメント

まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

農地を維持する地域の団体が高齢化し活動の継続が困難になることが予想されるため、人材育成への支援があると良いと思います。

農地縁辺部への植栽

良好な農景観は、農家の耕作や管理により成り立っていることを市民に理解していただけるよう、広報や見せ方を工夫してください。

土地所有者の声



機械を導入したことで、せん定枝のたい肥化をより効率的に行えるようになりました。

緑肥作物の作付けにより、土ぼこり対策のほか、畑の土づくりも行うことができました。

今後の進め方

まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

今後も農地周辺の良好な景観維持を図るため、水路等の清掃活動や農地縁辺部への植栽に対する取組を支援します。また、農地の多面的機能とともに、農景観を維持している農業者団体の活動についても市民の皆様に知っていただけるよう、広報を図っていきます。

農景観保全整備

傾斜のある農地では、近年多発している集中豪雨により土砂が流出するリスクが高まっているため、土砂流出対策を進めて被害の軽減を図ります。また、まとまりのある農地を対象に、水源確保の取組を継続して農地の利活用を促進し、良好な農景観を守っていきます。

環境配慮支援

今後も周辺環境に配慮した取組を推進するため、必要に応じて補助メニューの拡充を検討し、より多くの農家に取り組んでいただけるよう工夫し、農景観の維持につなげていきます。

緑肥作物等による環境対策

土ぼこり等の環境配慮対策になるだけでなく、緑肥作物の栽培によるメリットを農家に感じていただけるよう、今後も啓発に努めていきます。

取組11 多様な主体による農地の利用促進

取組内容

遊休農地の復元支援

遊休化して荒れた農地は、貸し借りが進まず、良好な農景観が損なわれます。良好な農景観を保全するために、意欲ある農家や新規に参入を希望する個人・法人など多様な主体へ農地を貸し付けられるよう遊休化した農地の復元を支援します。

2024年度の実績

進捗状況

	遊休農地の 復元支援
2024年度実績	0.89ha
5か年の目標	3.0ha
進捗率	29.7%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	10百万円	10百万円
5か年の計画額	88百万円	88百万円
執行率	11.4%	11.4%

実績の概要

遊休農地の復元支援

遊休農地の復元への支援を0.89haに対して行い、農地の貸し借りを促進しました。



復元後の農地(旭区)



復元後の農地(緑区)



復元後の農地(都筑区)



復元後の農地(瀬谷区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

遊休農地の復元支援

要綱を見直し、制度の利用に必要な提出書類を減らすなど手続きを簡素化し、制度利用者の負担の軽減を図りました。

JA横浜の担当者や地域の農家との情報交換を図り、荒れて借り手がなかなか見つからない農地の復元支援を進めることで、新たな担い手の耕作につながり、農景観保全が図られました。

制度利用者の声



貸し手の声

農地が荒れてしまい自分では借り手を見つけるのが困難でしたが、JA横浜の方から農地の復元制度と借り手の方を紹介していただき、農地が耕作されるようになり、ほっと一安心です。

借り手の声

遊休農地の土地所有者の方が制度利用に積極的ではなかったので、私がこの制度を利用しました。費用の自己負担はありましたが、条件の良い農地を借りることができました。

今後の進め方

遊休農地の復元支援

引き続き、JA横浜の担当者や地域の農家との情報交換を図りながら農地の復元支援を進め、農景観の保全を図ります。



取組12

様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

取組内容

収穫体験農園の開設支援

野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験することができる収穫体験農園の開設に必要な施設整備等を支援します。

市民農園の開設支援〈栽培収穫体験ファーム、環境学習農園、認定市民菜園〉

農作業の経験がない人でも農家から指導を受けることで栽培から収穫までを楽しめる農園や、利用者が自由に農作業を楽しめる農園など、土地所有者等が農園を開設するための支援を行います。環境学習農園の開設や利用希望等の相談があった際には、農家と学校等の相談に積極的に対応します。

農園付公園の整備

土地所有者による維持管理が難しくなった農地等を公園として市が買取ることや、農地の少ない都心部においても、市民が農作業を楽しめる農園を公園内に整備し開設します。

2024年度の実績

進捗状況

	様々な市民ニーズに 合わせた農園の開設
2024年度実績	3.38ha
5か年の目標	19.5ha
進捗率	17.3%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	334百万円	87百万円
5か年の計画額	1,835百万円	650百万円
執行率	18.2%	13.4%

実績の概要

様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園の開設支援では、イチゴやブルーベリー、ナシやブドウなど様々な農園、計2.94haに対して、収穫体験農園の開設に必要な設備の設置等の支援を行いました。

市民農園(栽培収穫体験ファーム、環境学習農園、認定市民菜園)の開設支援では、土地所有者等が認定市民菜園や環境学習農園を開設するための支援を実施し、0.34ha、10件の農園が開設されました。



収穫体験農園でのナシ狩り(緑区)



環境学習農園(青葉区)



認定市民菜園(泉区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

収穫体験農園の開設支援

のぼりなどの広報ツールを農家へ提供し、農園で掲出していただくことで、市民の皆様へのPRにつなげました。

市民農園の開設支援＜栽培収穫体験ファーム、環境学習農園、認定市民菜園＞

米作りや野菜の栽培を体験したい学校と、環境学習農園を開設したい農家からの要望を受けて、両者をつなぐ調整をしたことで、環境学習農園の開設数増につなげることができました。

一方で、住宅等が隣接しているなど、立地により市民農園の開設にあたって地域との調整に時間を要するケースもあります。

農園付公園の整備

本牧山頂公園をはじめ都心部の公園ならではの、市民の皆様が気軽に農とふれあう場づくりの検討を進めました。(仮称)長津田町深田農園付公園は、整備に向けた設計等を進めたほか、(仮称)新吉田東四丁目農園付公園は、基盤整備工事に取り組みました。

市民推進会議からの評価コメント

農園付公園の整備

農園付公園は、トイレなど、必要な施設がしっかり整備されており、自由に栽培や収穫ができる農体験の場として、利用のハードルが低いと思います。

ある程度の整備費用がかかるなどの課題はあるかと思いますが、ぜひ開園に結び付けてください。

参加者の声



収穫体験農園の参加者

横浜で収穫体験ができることを知りませんでした。農園の周りにたくさんののぼりが立っていて、細い路地でも迷わずに到着できました。

環境学習農園の参加者

普段、学校の授業でじっとしてられない子が素直に農作業の指導を受けているのに驚きました。今後も続けてほしいです。

今後の進め方

収穫体験農園の開設支援

農園の開設に必要な初期投資支援を継続するとともに、のぼりなどのPR資材も充実させていきます。

市民農園の開設支援＜栽培収穫体験ファーム、環境学習農園、認定市民菜園＞

小学校での稲作体験授業や、特別支援学級での農作業指導などの要望があり、今後、ニーズに合わせた環境学習農園の開設支援を図っていきます。

農園付公園の整備

農地の少ない都心部においても市民の皆様が農の魅力を実感できるよう、本牧山頂公園で農作業が楽しめる農園の整備に向けて取組を進めます。また、その他の地域においても、農園付公園の整備を進めます。

取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

取組内容

農を楽しむ取組の推進

横浜ふるさと村や恵みの里等で、苗の植え付けや農産物の収穫などを行う農体験教室など、市民が農とふれあう機会を提供します。また、ふるさと村総合案内所に農を楽しむ拠点としての機能の充実を図り、農の魅力を発信します。さらに、市内全域で農体験に関する様々な相談に応じるため、専門知識やスキルを有するコーディネーターを派遣します。

農体験の場の提供と援農の推進

市民農業大学講座や家族で学ぶ農体験講座を開催し、市民が栽培技術などを学ぶ場を提供します。子どもたちが楽しく農を学べるよう、家族で参加できる農体験講座の充実に取り組みます。また、援農コーディネーター(※)等を活用し、市民農業大学講座修了生などによる農家への援農活動を支援します。

※援農コーディネーター：労働力不足の農家と農家への手伝いを希望している市民を結び、農家の援農を支援する組織

2024年度の実績

進捗状況

	横浜ふるさと村、恵みの里 で農体験教室などの実施	コーディネーター 派遣	市民農業大学講座 の開催	家族で学ぶ 農体験講座の開催
2024年度実績	119回	12件	35回	6回
5か年の目標	450回	50件	175回	30回
進捗率	26.4%	24.0%	20.0%	20.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	30百万円	-
5か年の計画額	179百万円	-
執行率	16.8%	-



取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

実績の概要

横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施

市内7か所のエリアで、体験水田、枝豆づくり等の栽培収穫体験や、よもぎ団子教室等の農産加工体験など、農家による農体験を119回実施しました。

コーディネーター派遣

市内小中学校において、農のコーディネーターとして登録した農家による農業の仕事で行っている工夫を学ぶ授業や、学校の畑を活用した冬野菜作りなどの実習授業を12件実施しました。

市民農業大学講座の開催

野菜・果樹や花・樹木栽培管理の基礎について実習を中心に学び、修了後に農家での農作業のお手伝い（援農）や公園緑地の維持管理のボランティア活動など、地域で活躍する人材育成講座を35回を開催しました。

家族で学ぶ農体験講座の開催

作物の植え付けから収穫までの全6回の連続講座を開催し、小学生が家族と一緒に土にふれる農業を体験しました。

横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施



新治恵みの里冬野菜作り教室（緑区）

コーディネーター派遣



滝頭小学校（磯子区）

市民農業大学講座の開催



ブドウの管理作業（保土ケ谷区）

家族で学ぶ農体験講座の開催



サツマイモの定植（保土ケ谷区）

取組への工夫点・課題等

横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施

新治恵みの里では、新たに大豆づくり・豆腐づくりをするなど、さまざまな農体験を通じて市民の皆様が身近に横浜の農とふれあう機会が拡大しています。

寺家ふるさと村では、農家の高齢化等もあることから、今後活動の継続に向けて地区の活性化についても検討を行っていきます。

コーディネーター派遣

2024年度からの新しい事業として、農家と学校のマッチングにより、農家が少ない都心臨海部の小中学生にも横浜の都市農業を体感してもらう機会を提供することができました。

稲の栽培を学びたいという学校側のニーズは高い一方で、稲作を教えられる登録農家が少ないため、今後、協力いただける農家を増やしていく必要があります。

市民農業大学講座の開催

野菜づくりの講座に播種機はしゅうきの使い方などを取り入れ、受講生へ新しい手法の紹介を行いました。また、講座内容の充実や受講環境の改善に取り組みしました。

家族で学ぶ農体験講座の開催

雨天時や熱中症警戒アラート発令時に屋外作業ができなくなる場合にも、室内作業への切り替えや内容変更が行えるよう代替講座を事前準備し、充実した講座内容となるよう工夫しました。

市民推進会議からの評価コメント

横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施

栽培や収穫だけではなく、料理して食べることなども加えることで体験に広がりをもたせることができ、市内産農産物のさらなる周知につながるのではないかと思います。

参加者の声



農のコーディネーター事業を受けた学校職員

農家の仕事や、野菜作りの工夫だけでなく、どのように流通させるかなどの経営面に関するお話いただき、農家の皆さんや農業がどのように地域社会に貢献しているかが子どもたちに伝わりました。

家族で学ぶ農体験講座の参加者

野菜がどんなふう to 畑で育つのか、子どもと実際に畑を見て、体験することができてよかった。

今後の進め方

横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施

農体験や農産加工教室、直売イベント等を継続して実施し、市民の皆様が農にふれあう場を増やしていくとともに、市民の皆様が市内産農産物の魅力をより深く実感できる場を広げていきます。

コーディネーター派遣

市内の子どもたちが横浜の農業について学ぶ機会を増やすため、特に、農体験の機会が少ない都心臨海部の小学校等を中心に、コーディネーターの派遣を行います。

市民農業大学講座

引き続き、援農や緑化ボランティアの育成に向けて、園内圃場ほじょうでの実習のほか、農家の視察や研修など、さらなる講座の充実を図っていきます。

家族で学ぶ農体験講座の開催

熱中症などの暑さ対策と内容の充実を図り、子どもから大人まで誰もが安心して受講できるよう、工夫し講座を運営していきます。

取組14 地産地消にふれる機会の拡大

取組内容

直売所支援等の地域に根差した地産地消の推進

直売所や加工所に必要な設備の導入等を支援します。また、市民に身近な場所で実施される青空市やマルシェ等の継続的な開催を支援します。

市民が市内産植木や草花に親しめる機会の創出

市民が市内産植木や草花に親しめる機会を創出するため、市内の植木農家や花き農家が生産した苗木や花苗を、市民への配布や公共施設、農地の縁辺部への植栽に活用します。

市民に伝わる地産地消の情報発信

情報誌やパンフレットなどの制作・発行やウェブサイト・SNSなどの活用により地産地消の取組のPRを推進します。また、「横浜農場」を活用した市内産農畜産物のブランド化に向けたプロモーションの強化を図ります。特に、生物多様性の保全や美しい農景観の形成など、多くの意義のある市内水田を守るために市内産米のPRを行います。また、地域の特性を生かした地産地消の取組を推進します。

2024年度の実績

進捗状況

	直売所・青空市等の 支援	緑化用苗木等の 配布	市内産花苗の 公共施設等での活用	情報発信・PR: 情報誌などの発行
2024年度実績	62件	27,084鉢	2件(※)	10回
5か年の目標	285件	125,000鉢	10件	35回
進捗率	21.8%	21.7%	20.0%	28.6%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	44百万円	-
5か年の計画額	238百万円	-
執行率	18.5%	-

※公共施設と商業施設に対する支援を、各1件として計上しています。公共施設においては、市内18区の複数施設で活用しています。

実績の概要

直売所・青空市等の支援

直売所等に必要な設備の導入等を支援したほか、市民の皆様が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市やマルシェの開催を62件支援しました。



みなとみらい農家朝市(西区)

緑化用苗木等の配布

イベント開催時に市民に市内産苗木27,084鉢を配布したほか、公共施設等の周辺に植樹することで、市民が植木に親しむ場を提供しました。



南部児童相談所の緑化(港南区)

取組がもたらす
緑の効果・機能多様な
生き物の
すみか美しく
潤いのある
景観健康づくり・
コミュニティ自然・
農体験暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

実績の概要

市内産花苗の公共施設等での活用

公園や商業施設に対し市内産花苗を配布し、市民の皆様が横浜で高品質で多様な花苗の栽培が盛んであることを身近に感じていただける取組を実施しました。

情報発信・PR:情報誌などの発行

はまふうどナビ等の広報物の発行を行ったほか、SNSの活用や、地産地消月間におけるキャンペーン等の実施により、横浜の農を身近に感じていただける情報発信を展開しました。



公園における活用(鶴見区)

はまふうどナビ(第66号・67号)

取組への工夫点・課題等

直売所・青空市等の支援

直売団体等へ、広報面で効果が大きいと反響のあったのぼり等の物品を提供し、集客支援を実施しました。また、都心臨海部において開催されるマルシェの出店支援を行い、同地区の近隣住民に対して市内産農畜産物を購入できる場を提供しました。

緑化用苗木等の配布

市民ニーズに合わせて配布する樹種の本数を調整し、より市民の皆様が緑に親しむ機会を提供しました。また、今後に向けて、新規樹種の導入を検討するため、人気のある樹種の情報を収集しました。

市内産花苗の公共施設等での活用

市内産花苗を市民の皆様が目につきやすい出入口や窓口等の公共空間における展示等で活用しました。

公共施設では良質な花を実際に目にした市民の方が生産者から直接購入するなど、生活の中に市内産の花を取り入れるきっかけになりました。商業施設では公共的な空間を活用し展示いただくことで、高品質な花を実際に見てもらいながら市内産の花を大々的にPRできました。

情報発信・PR:情報誌などの発行

全市立小学校に配布されるエコチル横浜版や、市営地下鉄の駅等で配架される情報誌「ぐるっと」での特集記事の掲載など、様々な媒体を活用して広く地産地消に関する情報発信を行いました。さらに、子育て世帯向けアプリ「パマトコ」で、横浜の農や食育に関する発信など新しい取組を行いました。

Instagramの投稿には多くのリアクションをいただいておりますが、より多くの方に横浜の農の魅力を知っていただくため、フォロワー数の増や発信力の向上につながる取組が必要と感じています。

市民推進会議からの評価コメント

直売所・青空市等の支援

地域でとれた農畜産物やその加工品などが集まるマルシェは大変良い取組のため、さまざまな地域でできるよう、さらなる支援の検討をお願いします。

情報発信・PR:情報誌などの発行

他区局とも連携し、さまざまな媒体でPRが実施されていますが、今後は効果検証も踏まえた広報についても検討してください。

参加者の声



直売所・青空市等での購入者

中区や西区ではなかなか横浜産の野菜を買うことができないので、マルシェで買えるのは嬉しいです。

緑化用苗木を受け取った人

苗木の成長を楽しめます。
横浜で植木の苗を生産していることを初めて知りました。

情報誌などの読者

横浜にも田んぼがあることを知らなかったので、田んぼがあるメリットも含め、知ることができました。
稲刈り体験をしたばかりだったので、実践と結びついておもしろかったです。

市内産花苗を活用した公共施設の管理者

公園利用者から、質の高い様々な市内産の花を身近に見ることができ、毎年楽しみにしているとの声をいただいています。

今後の進め方

直売所・青空市等の支援

市民の皆様の身近な場所で市内産農畜産物を購入する場が維持されるよう、直売所等に必要な設備等の導入や都心臨海部で開催されるマルシェ等への出店支援を引き続き行います。

緑化用苗木等の配布

市民配布や公共緑化を通じて、市民の皆様が農や緑に親しむ機会を提供します。また、市民ニーズを反映しつつ、配布樹種の選定を行っていきます。

市内産花苗の公共施設等での活用

より多くの市民に市内産花苗の展示をご覧いただけるよう、展示に関する情報発信をより充実させます。

情報発信・PR

引き続き多様な媒体でPRを行うとともに、SNSのインサイト分析を活用し、読者のニーズや傾向に合わせた発信を行うなど、より効果的な広報の実施を図っていきます。また、他区局の広報ツールとの連携や新たに構築するウェブサイトにより情報へのアクセス性の向上を図り、多くの方に伝わる広報を展開します。

取組15 地産地消を広げる人材の育成・支援

取組内容

はまふうどコンシェルジュ(※1)等の地産地消を広げる人材の育成

講座の開催により、地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュを育成します。また、飲食店からの市内産農畜産物の使用に関する相談などに対応し、「よこはま地産地消サポート店」(※2)への登録を促します。

市民等による主体的な地産地消の活動支援

はまふうどコンシェルジュやよこはま地産地消サポート店によるイベント開催など、主体的な地産地消の活動を支援します。

地産地消活動の情報交換の場づくり

生産者やよこはま地産地消サポート店、はまふうどコンシェルジュ、地産地消に取り組む市民・企業等をつなげる交流会等を開催し、ネットワークづくりを支援します。

- ※1 はまふうどコンシェルジュ :横浜市が横浜の「食」と「農」をつなぎ地産地消を広めるため講座で育成した市民
- ※2 よこはま地産地消サポート店:市内産の農畜産物を使ったメニューを提供する飲食店などで横浜市に登録されているもの

2024年度の実績

進捗状況

	はまふうどコンシェルジュ 育成講座の開催	はまふうどコンシェルジュ・ よこはま地産地消サポート 店の活動支援	地産地消フォーラムの 開催
2024年度実績	1回	37件	1回
5か年の目標	5回	150件	5回
進捗率	20.0%	24.7%	20.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	5百万円	-
5か年の計画額	27百万円	-
執行率	18.5%	-

実績の概要

はまふうどコンシェルジュ育成講座の開催

全5回の講座で座学、実習及び視察形式で講義を行い、横浜の農業や地産地消に対する理解を深めました。

最終的に23名の修了生を輩出することができました。今後もコンシェルジュと連携しながら、地産地消を市内各地で推進していきます。



浜なし園の見学(緑区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

実績の概要

はまふうどコンシェルジュ・ よこはま地産地消サポート店の活動支援

はまふうどコンシェルジュ等の開催するマルシェや農体験などの活動支援を37件行い、多くの市民が横浜の農畜産物にふれる機会を創出しました。



はまふうどコンシェルジュ奨励事業(緑区)

地産地消フォーラムの開催

地産地消に取り組む人材の交流や情報交換等を行う「横浜 食と農のフォーラム」を、市民・企業等にも参加していただき開催しました。



食と農のフォーラム(中区)

取組への工夫点・課題等

はまふうどコンシェルジュ育成講座の開催

「農を巡る」をテーマにした回の講座では、実際に圃場を見学し、生産者の声を聞くことで、受講生は横浜の農業の現状を肌身に感じる事ができたと感じます。

「これからの地産地消」をテーマにした回の講座では、講座修了後の活動を見据えたグループワークを実施し、活発な意見交換をすることができました。また、経歴の異なる受講生の間で様々なネットワークが形成され、講座修了後のそれぞれの活動でも、協力して取り組まれるなどの成果が出ています。

各講座を円滑・効率的に進めていくため運営側の事務の進め方を見直すことで、受講生とより多くのコミュニケーションを図れるようになり、講座受講後の活動の相談などを早期からできるようになりました。また、提出書類等の電子化を進めたことで利便性の向上にも取り組みました。

はまふうどコンシェルジュ・よこはま地産地消サポート店の活動支援

地産地消月間である11月には、よこはま地産地消サポート店を利用して参加するレシートキャンペーンを実施し、SNSを活用した広報を行うことで、地産地消のPRとよこはま地産地消サポート店の認知度向上の相乗効果を狙いました。

さらに、放課後キッズクラブや児童クラブと連携して、子どもたちとの市内産米を使ったおにぎりづくりのイベントの開催など、はまふうどコンシェルジュの新たな活躍の場を作り出すことができました。

取組への工夫点・課題等

地産地消フォーラムの開催

2024年度は「横浜農場×食育～食や農を通じた子どもの学び～」をテーマに実施し、子ども達へ向けた様々な取組を提供している事業者による取組の紹介や「子どもたちと作る豊かな地域」をテーマとするグループワークを通して、参加者の交流や相互連携による地産地消を広げるためのネットワーク形成を進めました。

事業者による取組紹介では、構成などを工夫したことで発表時間を拡充し、目的や内容に加え、事業化のプロセスなどを紹介し、参加者の満足度向上につなげることができました。トークセッションでは、登壇者と参加者の双方向のやり取りを通して、活発な意見交換ができました。

一方で、はまふうどコンシェルジュ、よこはま地産地消サポート店、農家など、多様な関係者間の交流機会の創出が求められています。

市民推進会議からの評価コメント

はまふうどコンシェルジュ・よこはま地産地消サポート店の活動支援

はまふうどコンシェルジュは、さまざまな農家とつながることができますが、それ以外の場所での認知度は低い状況です。はまふうどコンシェルジュと企業等との交流や、学校への情報提供など、交流や周知を広げていただくようお願いします。

参加者の声



はまふうどコンシェルジュ 育成講座の開催

地産地消を推進する方法を具体的に考えることができ、活動のヒントが得られました。

様々な経歴を持つ受講生と関わることができて刺激となりました。

はまふうどコンシェル ジュ・よこはま地産地消 サポート店の活動支援

支援を受けたマルシェが開催を重ねるごとに地域から認知されるようになり、地産地消の普及の場となっています。

地産地消フォーラム参加者の声

多様な人の集まりから様々な取組やご苦勞を聞く機会があり、とてもありがたいです。

全体の時間が短いと感じました。集まったメンバーが今後も継続できる取組につなげるところまでできるとよいです。

今後の進め方

はまふうどコンシェルジュ育成講座の開催

講座の中で、今後の活動アイデアや計画を立てるワークショップを行うとともに、認定後に活用できる支援制度を案内するなど、意欲をもって活動を継続してもらえるように工夫します。

はまふうどコンシェルジュ・よこはま地産地消サポート店の活動支援

はまふうどコンシェルジュ等の活躍の場をさらに広げられるよう、庁内連携の強化や、新たな支援策の検討を進めます。はまふうどコンシェルジュ講師派遣制度では、主催者側のニーズを丁寧にくみ取り、より適切な講師を派遣することで参加者の満足度の向上を図ります。

地産地消フォーラムの開催

生産者やはまふうどコンシェルジュ、地産地消サポート店など、市域で地産地消に関わる多様な人材の交流、ネットワーク構築が促されるよう、実施手法を適宜見直ししながら展開していきます。

取組16 市民や企業等との連携

取組内容

企業等と連携した地産地消の推進

地産地消を広げるため、地産地消に取り組む意欲のある企業からの相談などに対応し、地産地消のPRイベントの開催や市内産農畜産物を使用した商品の販売等、企業等と連携した地産地消の取組を推進します。

地産地消ビジネス創出の推進

地産地消に関係する新たなビジネスに取り組む市内中小企業等を対象に、ビジネスプランを策定するための講座を開催し、認定されたプランを支援します。

学校給食での市内産農産物の利用促進

小学校の給食メニューにおける市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業などと連携し、学校給食での市内産農産物の一斉供給や、小学生を対象とした料理コンクールを開催します。

2024年度の実績

進捗状況

	市民や企業等との 連携	ビジネス創出支援	学校給食での市内産 農産物の一斉供給	料理コンクールの 開催
2024年度実績	15件	0件(※)	推進	1回
5か年の目標	75件	20件	推進	5回
進捗率	20.0%	0.0%	-	20.0%

※2～5年目の各年に5件ずつ実施する計画となっています

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	3百万円	-
5か年の計画額	43百万円	-
執行率	7.0%	-

実績の概要

市民や企業等との連携

企業等と連携し、市内各所で地産地消の普及啓発イベントを実施しました。農地が少ない都心臨海部では、模擬的な収穫体験を実施し、農産物にふれる機会を提供しました。



横浜赤レンガと連携した「おいも万博」における
街なか収穫体験の実施(中区)

ビジネス創出支援

地産地消の活動をビジネス化したい事業者や新規創業者を対象とした育成講座を実施しました。講座は全5回行い、最後に補助対象者を決定するための選定懇談会を実施しました。



地産地消ビジネス創出支援事業
育成プログラム(中区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

実績の概要

学校給食での市内産農産物の一斉供給

食育推進の一環として、市内産農産物の一斉供給を実施し、学校給食で使用しています。2024年度は322校に市内産キャベツを供給し、「タンタンスープ」として提供されました。



市内産キャベツを使用した給食

料理コンクールの開催

(はま菜ちゃん料理コンクール)

2024年度はコマツナを使用した給食メニューを考案してもらうコンクールを実施し、応募総数は過去最多の2,509点となりました。



入賞作品レシピ集

取組への工夫点・課題等

市民や企業との連携

JA横浜と連携して市庁舎で開催している農畜産物の直売では、レイアウトやオペレーション、陳列品目の改善などにより来客数が昨年比で約1.5倍になるなど、多くの方へ横浜の農にふれる機会を提供できました。また、浜なしを使用した「麒麟 氷結®mottainai 浜なし」が生まれるなど、企業と連携した取り組みを進めました。

ビジネス創出支援

2回の対面講座に加え、多様な受講機会を提供するためオンラインでも講座を3回、実施しました。また、2024年度より受講生全員との個別面談を実施し、現状のビジネスプランの確認と課題の認識を行う伴走支援を強化しました。

学校給食での市内産農産物の一斉供給

地産地消について児童の関心を高めたうえで、市内産農産物を使用した給食の提供ができるよう、供給食材に関するポスターを作成し、事前に全校へポスター配布を行いました。

料理コンクールの開催(はま菜ちゃん料理コンクール)

西区、青葉区、都筑区の周年事業と連携して区長賞等を設定したほか、飲食店の協力を得て、入賞した作品をアレンジしたメニューとして期間限定で提供してもらうことにより、はま菜ちゃん料理コンクールの認知度向上につなげました。

市民推進会議からの評価コメント

市民や企業等との連携

企業等との連携はPR効果が大変大きい取組です。横浜に根差す企業等を応援していくことが横浜農業の応援にもつながるような、企業等と農家とがwin-winの関係になるような取組をさらに広げてください。

参加者の声



市民や企業等との連携

周辺に市内産の新鮮な野菜を買う場がないので、市庁舎直売の開催は助かります。

横浜FCホームゲームで定期的開催される横浜農場マルシェを楽しみにしています。

ビジネス創出支援

ビジネス初心者でも参加可能な講座内容で、参加して良かったです。

事業計画書作成から選定懇談会までの期間がタイトなので、作成期間にゆとりを持たせてもらえると良いです。

学校給食での市内産農産物の一斉供給

これまで市内産の農産物等を使用する機会がなかなかなかったのですが、市内産キャベツは甘みが強く児童からも好評で、児童にとっても良い勉強の機会となりました。

料理コンクールの開催

横浜の野菜について研究したり、「もし給食ででてくるなら」と想像したりしながら、家族の意見を聞いていろいろなレシピを考えました。コマツナのおいしい食べ方をたくさん発見でき、楽しかったです。また、参加したいと思います。

今後の進め方

市民や企業等との連携

市内各地で地産地消を展開するために、企業等と連携した取組を引き続き実施していきます。

ビジネス創出支援

受講生が事業内容を検討する時間を確保するため、事業計画を発表する選定懇談会の開催時期の変更を検討していきます。また、2024年度より実施した受講生の個別面談を継続して行うことで、事業実現性を高めるための伴走支援を強化します。

学校給食での市内産農産物の一斉供給・料理コンクールの開催(はま菜ちゃん料理コンクール)

食育を通じて、子どもたちの横浜の農への理解や関心を高めていくために、庁内関係区局や企業等と連携しながら、一斉供給事業や料理コンクールを引き続き展開していきます。

取組17 シンボルのな緑の創出・育成

取組内容

公共施設・公有地での緑の創出

各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進します。

公有地化によるシンボルのな緑の創出・育成

多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな空間を創出することで、街の魅力や賑わいづくりにつなげます。

また、花畑や名所など、地域に親しまれている緑のオープンスペースが、所有者の不測の事態等により、存続が困難となった場合に用地を取得し、緑や花による地域のシンボルのな空間として保全し、良好に育成します。

2024年度の実績

進捗状況

	緑の創出	緑の維持管理
2024年度実績	3か所	推進
5か年の目標	5か所	推進
進捗率	60.0%	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	20百万円	3百万円
5か年の計画額	835百万円	97百万円
執行率	2.4%	3.1%

実績の概要

公共施設・公有地での緑の創出

併設している白根地区センターと旭図書館の緑地を再整備しました。白根地区センターには小さな芝生の広場等を整備し、旭図書館にはモッコウバラを仕立てるためのトレリスフェンス等を設置しました。



白根地区センター(旭区)



旭図書館(旭区)

公有地化によるシンボルのな緑の創出・育成

鶴見区北寺尾で、これまで町のはらっぱとして地域で利用されてきた土地の一部を北寺尾六丁目サムエル公園として整備・公開しました。また、中区山手町の公園予定地において、基盤整備工事を実施しました。これまで本事業で整備した公園では、地域のシンボルのな緑として、質の高い維持管理を進めています。



緑の創出

北寺尾六丁目サムエル公園(鶴見区)



緑の維持管理

伊勢町もくせい公園(西区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

公共施設・公有地での緑の創出

公共施設の緑地の再整備等により新たに緑を創出し、より多くの方が緑を実感して愛着が持てるよう、カラーリーフや花などによる魅力的な空間づくりを心掛けています。

旭図書館では、ボランティアの方も手入れをしやすいような壁面緑化を検討し、モッコウバラによる魅力づくりを行いました。図書館と地区センター、隣接する公園も含めて散策の楽しみが広がるよう一部は芝生による緑化も行いました。

公有地化によるシンボリックな緑の創出・育成

鶴見区で長年、地域の方々に親しまれてきたサムエル町のはらっぱを、災害時のいっとき避難所や地域コミュニティの場としても利用できる北寺尾六丁目サムエル公園として整備しました。

市民推進会議からの評価コメント

土地所有者の声



公共施設・公有地での緑の創出

公共施設の隣接地及び近接地など、ベンチや緑陰があれば、少しのスペースでも住民の憩いの場となりうる可能性があることを念頭に置き、引き続き、緑の創出・育成を進めてください。

公共施設・公有地での緑の創出

プランターや壁面緑化で花や緑が増えて、緑化ボランティアさんにもご好評いただいています。

今後の進め方

公共施設・公有地での緑の創出

公共施設や公有地においては、当初整備から年数が経過した緑地をより魅力的にするなど、多くの方々が緑の魅力を実感でき、憩いの場所となるような緑化を重点的に進めます。

公有地化によるシンボリックな緑の創出・育成

公有地化によるシンボリックな緑の創出では、中区山手町の公園予定地の公開に向け、設計等を進めていきます。また、これまで本事業で整備した場所では、引き続き質の高い維持管理を進めます。

取組18 街路樹による良好な景観づくり

取組内容

街路樹による良好な景観づくり
駅周辺や各区の主要な路線を中心に、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。また、地域で愛されている桜並木等の再生を行います。これらを通して街路樹による良好な景観づくりを進めます。

2024年度の実績

進捗状況

	街路樹による良好な景観づくり
2024年度実績	18区で推進
5か年の目標	18区で推進
進捗率	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2024年度決算額	454百万円	454百万円
5か年の計画額	2,300百万円	2,300百万円
執行率	19.7%	19.7%

実績の概要

街路樹による良好な景観づくり
各区の街路樹で計画的なせん定を行い、美しい景観づくりを進めました。
また、大岡川プロムナード、環状4号線、石崎川プロムナード、美しが丘中学校サクラ通りなどの地域で愛されている桜並木等の再生を行いました。



すずかけ通り(維持管理)
(西区)



大岡川プロムナード(並木の再生)
(中区)



石崎川プロムナード(並木の再生)
(西区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

街路樹による良好な景観づくり

管理目標となる樹形を設定し、樹種に合ったせん定を進めています。

また、桜並木を次世代に継承する取組を行っています。市内ではいろいろな場所に桜並木がありますが、樹木医による診断で、不健全と判断された桜は、倒木等の危険があるため伐採の対象となるため、積極的に若い桜に植え替え、桜並木が楽しめる景観の維持を進めています。

桜並木の再生に当たっては、歩道がせまい路線では、広がりすぎない樹形の桜を適切に選ぶなど、複数の部署で連携しながら進めています。

市民推進会議からの評価コメント

地域の声



街路樹による良好な景観づくり

街路樹は市民の皆様の目にふれやすく、関心が高い場所です。街路樹の生育状況や整備条件などもあると思いますので、伐採せざるを得ない場合は、「なぜ伐採しなければならないのか」「その後どのように植え替えるのか」を、市民の皆様へ伝え十分な理解を得ることも重要と考えます。

交差点での信号待ちの時に街路樹の木陰があると助かります。

街路樹の新緑や紅葉などを見られることで、街なかで季節を感じることが出来ます。

今後の進め方

街路樹による良好な景観づくり

街路樹を危険防止のため伐採する場合には、現地での掲示や事前のチラシ配布などによりお知らせを行い、地域の皆様にご理解が進むよう今後とも取り組んでいきます。

市内の街路樹を紹介する冊子の作成や、桜並木の再生を紹介するような取組も進めていきます。

これからも、市民の皆様が日常生活で目にする街路樹の適切な維持管理に努め、次の世代に引き継いでいけるように取り組んでいきます。



取組19 公開性のある緑空間の創出支援

取組内容

公開性のある緑空間の創出支援

多くの人が訪れる公開性のある民有地において、法令等で定める基準以上の緑化を行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。

2024年度の実績

進捗状況

事業費執行状況

公開性のある 緑空間の創出支援		事業費		うち横浜 みどり税
2024年度実績	推進	2024年度決算額	10百万円	6百万円
5か年の目標	推進	5か年の計画額	110百万円	90百万円
進捗率	-	執行率	9.1%	6.7%

実績の概要

公開性のある緑空間の創出支援

西区みなとみらいの複合施設において、法令等で定める基準以上の緑化を行う事業者が費用の一部に助成を活用し、目にする人に魅力的に感じてもらえる緑化を行いました。



緑化を助成した複合施設(西区)



取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

公開性のある緑空間の創出支援

制度の認知度が低く、対象となる方にもご利用いただけていない状況となっています。

制度の認知度向上のため、ウェブサイトの公開や、関係課へのチラシの配架、横浜市環境保全協議会の会報誌への制度の情報の掲載などを行いました。

制度内容についてご相談があった際には、実際に現地に伺い、制度の趣旨にあった「多くの人に公開できる緑化」整備となるよう、相談者とともにアイデアを出しあいながら、実現に努めています。

事業者の声



建築行為に伴った緑化でしたが、この事業を活用することで、基準を超える、魅力的な緑化整備に踏み切ることができました。

今後の進め方

公開性のある緑空間の創出支援

2024年度に受けた8件の助成相談には、特定の利用者を対象とした敷地や、対象緑化面積の確保が難しい敷地など、制度の要件を満たさず、助成に結び付かないケースがありました。

今後は、助成内容とその要件等をより多くの事業者に知っていただくよう、わかりやすく工夫するとともに、可能な限り活用に関わり付けられるよう、効果的な広報活動を更に進めていきます。



取組20 建築物緑化保全契約の締結

取組内容

建築物緑化保全契約の締結

緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全する場合、建築物所有者(管理者)の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。

2024年度の実績

進捗状況

	建築物緑化保全契約の 締結
2024年度実績	制度運用
5か年の目標	制度運用
進捗率	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	-	-
5か年の計画額	4百万円	-
執行率	0.0%	-

実績の概要

建築物緑化保全契約の締結

ビルなどが立ち並ぶ街なかで、外構部分を中心に緑化された緑地に対して契約を締結しました。これから10年間、緑の環境をつくり育てる条例で定める一定の基準を超える緑化率で緑地を保全していただきます。



取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

建築物緑化保全契約の締結

契約件数が減少の傾向にあるため、制度の広報を行うとともに、ニーズの変化を検証する段階にあると考えています。

市庁舎の建築情報センターに制度についての案内チラシを配架しているほか、横浜市環境保全協議会の会報誌に制度の情報を掲載するなど、より多くの市民や事業者の皆様には制度を知っていただけるよう、周知に取り組んでいます。

また、契約手続きを行うか迷っている方が気軽に相談できるよう、事前相談期間を設けています。

契約者の声



家の敷地にたくさん緑があり、維持管理が大変なため、少しでも減税してもらえるのは助かります。

かなり昔に建てた家のため、建築時の書類など、手続きに必要な書類を準備する面では苦労しました。

しかし、家と同じように緑もずっと守ってきたので、この制度を活用することで、保全に力を入れていきたいと思います。

今後の進め方

建築物緑化保全契約の締結

引き続き、より多くの方々に制度周知を図るとともに、制度内容をより分かりやすく、契約手続きの改良にも努めます。



取組21 名木古木の保存

取組内容

名木古木の保存

地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定し、潤いのある市民生活の確保と、都市の美観風致を維持していきます。

また、指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。

2024年度の実績

進捗状況

	名木古木の保存
2024年度実績	推進
5か年の目標	推進
進捗率	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	16百万円	15百万円
5か年の計画額	93百万円	80百万円
執行率	17.2%	18.8%

実績の概要

名木古木の保存

栄区や港北区等で、8件を名木古木に新規指定しました。

既存の指定樹木については、75件について維持管理費用の一部を助成しました。



新規指定樹木(栄区)



新規指定樹木(港北区)



既指定樹木(中区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

名木古木の保存

指定された名木古木に対し、10年に一度、市が樹木医による定期調査を実施しています。その結果を所有者の方に送付することで、所有される名木古木の現状を把握いただき、維持管理の参考として役立てていただいています。また、XをはじめとしたSNSによる情報発信を通じて、各区の名木古木をご紹介します、より広く、多くの方々に事業を知っていただくよう工夫しています。

名木古木の所有者の声



大切にしてきた樹木が名木古木に指定されたことで、地域の方々からより関心を持ってもらえるようになりました。

高木のせん定は非常に費用がかかるので、助成制度を活用することで負担が減り、助かっています。少しでも長く、名木古木として維持していきたいと思います。

今後の進め方

名木古木の保存

引き続き、地域の方々に親しまれている名木古木が将来とも健全に保全されるよう、所有者の方々に向けて、助成金の活用を適時にご案内するとともに、新規指定に向けた制度周知や個別の説明を進めていきます。



取組22 地域緑のまちづくり

取組内容

地域緑のまちづくり
「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の思いを実現するため、計画づくり、花や木の植栽、維持管理など、緑のまちづくりの取組を支援します。ご近所同士や集合住宅の管理組合でも気軽に取り組める仕組みです。
また、2023(令和5)年度までに協定を締結した地区の継続支援のほか、協定締結終了地区にもアドバイザー派遣等の支援を実施します。

2024年度の実績

進捗状況

	地域緑のまちづくり
2024年度実績	7地区
5か年の目標	35地区
進捗率	20.0%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	50百万円	50百万円
5か年の計画額	504百万円	504百万円
執行率	9.9%	9.9%

実績の概要

地域緑のまちづくり

2024年度は新たに3地区との協定を締結し、4地区の再整備支援を開始しました。2023年度までに協定を締結した15地区の団体に対して、花壇の整備、鉢の寄せ植えなどの研修費用を助成、支援を行いました。



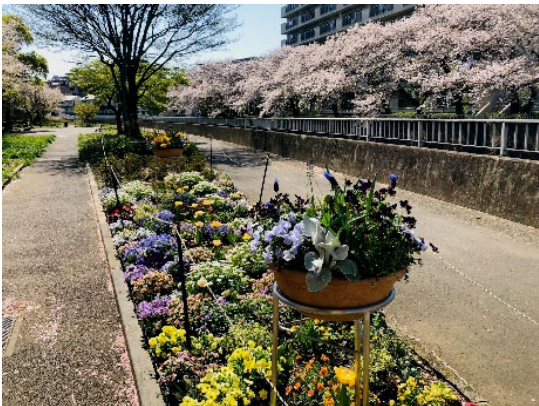
野庭団地地区(港南区)



六浦東地区(金沢区)



中川西地区(都筑区)



柏尾町地区(戸塚区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

地域緑のまちづくり

地域の状況や活動する団体の皆様の思いにより、プランター設置から広場一帯の緑化まで、様々な提案があります。地域に合った緑化となるように、また、活動が長く継続できるよう、アドバイザーと一緒に技術的な支援などを行っています。

今期から、これまで活動してきた地区で、老朽化した花壇の再整備などを始めました。引き続き、各団体のニーズを踏まえた支援を行っていきます。

市民推進会議からの評価コメント

地域緑のまちづくり

「地域緑のまちづくり」の支援終了後に活動が廃れてしまうことが無いよう、現在の支援額の妥当性も踏まえて、より市民の皆様の緑化に対する希望に添えるように検討を進めてください。

学校関係者や福祉関係者、若い世代などさらに多くの人に参加していただき、コミュニティの交流の活性化や地域の課題解決につなげることで、持続可能なまちづくりの一端となることを期待します。

活動団体の声



関係各所との調整が大変でしたが、コミュニティが広がり、通行人の方からも「いつもきれいにしてくれてありがとう」などお声掛けいただくことも多く、やって良かったなと思います。

活動中はやってみないと分からないことも多く、試行錯誤と挑戦を重ね、結果的には120%の仕上がりになったと感じています。

薄暗かった通りが、明るく統一感のある魅力的な通りになったことで、周りからの反響も大きかったです。

今後の進め方

地域緑のまちづくり

近年は地域緑のまちづくりに取り組んだ地区の近隣の地区から提案いただく機会も多いことから、小規模な地区での緑化も積極的に支援しています。今後も、取組がつながりをもって面的に広がっていくよう、また、地域交流の活性化にもつながるよう推進していきます。

取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

取組内容

地域に根差した緑や花の楽しみづくり

緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組や、それを担う人材育成等を推進します。また、地区センター等の地域に身近な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進し、良好に育成します。

2024年度の実績

進捗状況

	緑や花を身近に感じる 各区の取組
2024年度実績	18区で推進
5か年の目標	18区で推進
進捗率	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	85百万円	-
5か年の計画額	620百万円	-
執行率	13.7%	-

実績の概要

緑や花を身近に感じる各区の取組

市民の皆様が心を込めて育てている庭や花壇を巡る「オープンガーデン」は、年々参加者が増加しており、花と緑の輪が広がるとともに、地域のコミュニケーションの活性化にもつながっています。区役所の花壇を一緒に作ったり、親子で参加するガーデニング教室など、次世代を担う子ども向けの花育の取組を実施しました。

ガーデンネックレス横浜の会場の一つである山下公園では、球根ミックス花壇づくり講習会を実施しました。また、各区で公園愛護会を対象とした花壇づくり講習会を実施したほか、球根や花苗、堆肥を配布し、公園花壇に植えていただき、緑や花でいっぱいのまちづくりにつなげました。

都筑区庁舎、栄区庁舎、八景島客船ターミナル周辺の3か所の身近な公共施設・公有地で、新たに魅力的な緑を創出しました。



オープンガーデン
(瀬谷区)



キッズガーデニング教室
(都筑区)



球根ミックス花壇づくり
講習会(山下公園 中区)



親子で咲かせるはじめての
ミニガーデン(神奈川区)



身近な公共施設での緑の創出
(都筑区庁舎)



身近な公共施設での緑の育成
(泥亀公園 金沢区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

緑や花を身近に感じる各区の取組

ガーデンシティ横浜の実現を目標に、街なかのみどりの空間により地域への愛着を深め、地域住民同士の交流を促進するための取組の一つとして、オープンガーデンを実施しています。実施に当たっては、スタンプラリーやルート案内ツアーの開催など、毎年恒例の企画をより充実させ、参加者が広がるよう工夫しています。

また、区庁舎などで区民向けのガーデニング講座を開催しています。特に、未就学児を対象に、親子で楽しみながら初めて花を育てるコツを学ぶ講座を開催しましたが、近隣の保育園に直接チラシでお誘いするなどPRを工夫したため、定員を大幅に上回る多くの申込がありました。

花壇づくり講習会では、多年草を使ったローメンテナンスな花壇づくりを学んでいただきました。山下公園の球根ミックス花壇講習会では、募集人数を上回るご応募があり、初めての方を中心に83名の方にご参加いただきました。

これまでに緑を創出した区庁舎や地区センターなど市民の皆様に身近な公共施設では、訪れた人に心地の良い緑を感じていただけるよう、施設管理者向けに適切な維持管理のためのアドバイスを行っています。

市民推進会議からの評価コメント

近年、各区でオープンガーデンが活発に開催されるなど、地域と連携した緑化が着実に進んでいることを評価します。

参加者や地域の声



オープンガーデン参加者の声

楽しい企画で、家族との絆もできて良い一日を過ごせました。街の華やぎにもつながります。お花を見に歩くので、高齢の方から若い人もおすすめです。庭を愛情もって精を込めて咲かせてて、いいお顔をしているのに感心する。お庭づくりを生きがいにされている方々ばかりで元気をいただきました。

ガーデニング講座参加者の声

寄せ植えのやり方も知ることができてよかった。子どもが想像以上に楽しく取り組んでいて良い体験になりました。これまで子どもと一緒に花を植える機会がなかったので、楽しく参加させてもらえました。

地域の声

家の近くの芝生広場は地域の子もたちでにぎわっていて、気持ちよさそうに広場を利用している姿をよく見ます。近くを通るだけでも涼しさを感じます。いつも楽しみにしています。

山下公園の球根ミックス花壇づくり講習会の参加者の声

球根ミックスの植え方がわかったので、子どもたちと楽しくできそうです。

花壇づくり講習会の参加者の声

水やりの方法が参考になった。

今後の進め方

緑や花を身近に感じる各区の取組

緑や花に親しむ区民の皆様の活動を支援し、2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)に向けた緑や花による機運醸成にもつなげていくため、様々な年代を対象としたガーデニング講座の開催や、オープンガーデンの開催、花や緑の見どころをめぐるウォーキングイベントを開催していきます。また、花や緑による美しい街並みや、公園、自然豊かな里山などの横浜の魅力を発信することで、まちの活性化やにぎわいの創出にも貢献していきます。

公園愛護会向けには、花壇づくり講習会で、夏場の公園での水やりや維持管理等の負担が軽減できる手法をお伝えしています。また、管理しやすい多年草や堆肥の配布を行っています。

多くの人が訪れる公共施設では、緑を楽しんでいただき、憩いの場ともなるような緑化を推進していきます。

取組24 人生記念樹の配布

取組内容

人生記念樹の配布

多くの市民の皆様が緑をつくり、育むきっかけとなるよう、出生や入学、住宅の新築や購入などの人生の節目の記念に、希望した市民に、市内で生産された苗木を配布します。

2024年度の実績

進捗状況

	人生記念樹の配布
2024年度実績	6,915本
5か年の目標	40,000本
進捗率	17.3%

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	18百万円	11百万円
5か年の計画額	100百万円	57百万円
執行率	18.0%	19.3%

実績の概要

人生記念樹の配布

市民参加による緑の育成と推進を図るため、6,915本の苗木を人生記念樹として無料で配布しました。



人生記念樹配布(港南区)



人生記念樹配布(金沢区)



取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

人生記念樹の配布

5か年の目標に向けて、進捗状況がやや低い状況にあり、実施手法の見直し及び新たな広報の展開などさまざま検討を進めています。

配布する苗木の種類を見直し、若年層にニーズがある樹種や、ベランダで鉢植えがしやすい樹種などを盛り込むことで、大幅な申込増につなげました。また、ガーデンネックレス横浜の取組と連携して広報を行うなど、PRを強化しました。

さらに、2024年度秋配布では、配布場所をJA横浜のメルカートやハマッ子直売所としたことにより、店舗の利用者に対しても広く事業を周知することができました。また、苗木を受け取りに来た方には、初めて店舗を利用する方も多く、市内農産物の地産地消に関心を持っていただくきっかけとなるなど、横浜みどりアップ計画の柱を越えた取組の推進に寄与できました。

受け取った人の声



子どもたちの入学・入園の記念にもらいました。小さな苗木ですが、子どもの成長とともに、苗木の成長も楽しみにしていきたいです。

配布している樹種が鉢植えでも育てられることを知らなかった。もっとお知らせしてもらえるとありがたい。

今後の進め方

人生記念樹の配布

人生記念樹は、申込みが通年であることから、申込みから受取までの期間が長期になる場合があるため、申込者から確認の問合せ等をお受けする機会が増えています。申込者がスムーズに受け取れるよう、申込みと受取の期間の短縮やリマインドメールの送付など、受付方法の改善を検討していきます。また、申込みの実施期間中に重点的に広報を実施するなどの工夫を進めます。

JA横浜のメルカート等の農産物直売所での受取は、利用者の皆様から、緑や花、さらに農を感じる事ができると好評をいただいたため、今後も継続していきます。



取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

取組内容

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

子どもを育む空間である保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進します。また、創出した緑を良好に維持するとともに、芝生やビオトープに関する技術支援を行います。

2024年度の実績

進捗状況

	緑の創出	緑の維持管理
2024年度実績	28か所	推進
5か年の目標	100か所	推進
進捗率	28.0%	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	47百万円	6万円
5か年の計画額	445百万円	75万円
執行率	10.6%	8.0%

実績の概要

緑の創出

校庭・園庭の芝生化、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所で、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑を28か所創出しました。また、ビオトープの整備に関するアドバイスを求める声に応じるため、専門家の派遣も実施しました。



大道小学校芝生整備(金沢区)



港北小学校植樹(港北区)



山田小学校ビオトープ整備
(都筑区)

緑の維持管理

この取組により緑化した芝生や植栽の維持管理について、費用の一部を支援するとともに、芝生の維持管理についての技術講習会や訪問指導、ビオトープの整備や維持管理の訪問指導を実施しました。



本郷特別支援学校での
芝生講習会(栄区)



南希望が丘中学校でのビオトープ
アドバイザー派遣(旭区)

取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

緑の創出

保育園や幼稚園、小中学校において、それぞれの施設の自然環境や地域特性を大切にしながら、本事業を活用した緑化整備を推進しています。また、子どもたちが主体となって緑化整備の計画づくりができるよう支援に努めています。

港北区の小学校では、地域のニーズや子どもたちの利用状況に合わせた樹種を提案し、サクラを植樹することができました。

緑の維持管理

施設を利用する子どもたちや教職員、地域ボランティアが協力して花壇やビオトープの維持管理に取り組めるよう、他施設の管理体制等を紹介するなどのアドバイスを行っています。また、専門家をアドバイザーとして派遣し、活動を継続できるように支援しています。

ビオトープの計画づくりでは、現地調査だけでなく、職員が授業にも参加し、子どもたちが調べた成果や思いを伺いながら、計画づくりをサポートしました。

市民推進会議からの評価コメント

緑の創出

小学校、中学校や高校などへの情報提供を強化し、周知の浸透を図ることで、教育現場がこの事業をさらに利用しやすくなるよう努めてください。

施設管理者の声



この取組のおかげで、学校の周年事業として、児童たちと一緒に記念植樹を実施することができました。学校としても記念植樹で植えた樹木をこれからも大切にしていきたいです。

芝生の専門家を派遣していただき、整備後の維持管理についてもアドバイスしてもらえたので、不安も少なく園庭を芝生化することができました。

今後の進め方

緑の創出・緑の維持管理

保育園や幼稚園、小中学校において、より多くの施設で緑化が進むよう、施設関係者と連携を深めながら広報や技術支援に取り組んでいきます。

緑化整備の支援だけでなく、維持管理に関する支援をさらに充実させ、持続的な緑化につなげていきます。また、子どもたちが緑にふれるきっかけづくりの支援も進めていきます。

取組26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

取組内容

都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

山下公園などの都心臨海部や、ガーデンネックレス横浜の会場となっている里山ガーデン(よこはま動物園ズーラシア隣接)など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。また、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。

2024年度の実績

進捗状況

	緑花による魅力づくり
2024年度実績	推進
5か年の目標	推進
進捗率	-

事業費執行状況

	事業費	うち横浜 みどり税
2024年度決算額	518百万円	264百万円
5か年の計画額	2,712百万円	1,380百万円
執行率	19.1%	19.1%

実績の概要

緑花による魅力づくり

山下地区を中心とした都心臨海部や新横浜駅周辺の14か所で、緑や花による良好な空間づくりを進めました。



港の見える丘公園(中区)



新港中央広場(中区)



新横浜駅周辺(港北区)



里山ガーデン(旭区)



取組がもたらす 緑の効果・機能

多様な
生き物の
すみか

美しく
潤いのある
景観

健康づくり・
コミュニティ

自然・
農体験

暑さをやわ
らげる

防災・減災

街なかの
魅力向上・
賑わいの
創出

取組への工夫点・課題等

緑花による魅力づくり

緑花で彩るスポットは、市民の皆様をはじめ、横浜を訪れる多くの方に美しい緑と花の空間を提供できるよう、高い管理水準を心がけています。年ごとに花の色や花壇のデザインに変化を与え、何回でも訪れたくなるような空間づくりに努めています。

広報では、ガーデンネックレス横浜における花の見どころをPRするほか、多くの来場者の方々に写真をSNS等で発信していただけるよう工夫し、横浜の街の魅力の更なるアピールにつなげています。

来園者の声



バラやその他の花が美しく咲く様子がとても綺麗で癒されています。毎年楽しみにしています。

いつ訪れても花や緑が綺麗に管理されている山下公園や港の見える丘公園などのエリアは、横浜市の有名な観光名所になっています。これからも美しい景色を期待しています。

今後の進め方

緑花による魅力づくり

ガーデンネックレス横浜を通して、緑花で彩られたスポットを引き続き積極的にPRしていきます。

さらに、GREEN×EXPO 2027の開催も見据えて、より魅力的な緑花や質の高い維持管理を継続していくとともに、市民の皆様にとって、花と緑、環境への関心の高まりにつながるような取組も進めていきます。



取組27 計画の周知や実績報告

取組内容

具体的な取組

- | | | |
|--|--|--|
| 1.インターネットによる広報
(1)ホームページへの掲載
(2)SNSによる発信 | 2.出版物による広報
(1)広報よこはまへの掲載
(2)実績概要リーフレットの作成
(3)その他広報誌への掲載 | 3.その他
(1)交通広告(動画等)によるPR
(2)イベント会場でのPR
(3)取組に基づいて実施したことを示すプレート等の設置 |
|--|--|--|

緑の取組への理解を広げ、共感と参画につなげる広報

- イラストや写真等を活用しながら、取組の内容や実績をわかりやすく市民の皆様にお伝えします。
- より多くの市民の皆様が緑の取組を体感し、活用していただけるよう様々な情報発信を行います。

緑の取組の多様な情報発信

- イベント・体験のスポットのご紹介
- 市民が活用できる制度のご紹介
- 横浜の美しい緑や花、緑を楽しむ人のご紹介

2024年度の実績

進捗状況

計画の周知や実績報告

2024年度実績	推進
5か年の目標	推進
進捗率	-

事業費執行状況

事業費

うち横浜 みどり税

2024年度決算額	14百万円	-
5か年の計画額	80百万円	-
執行率	17.5%	-

実績の概要

広報よこはま等の広報紙への記事掲載

市民・事業者の皆様、横浜みどりアップ計画の取組の成果や効果、事業実績を広くPRするため、広報よこはまをはじめとする広報紙に記事を掲載しました。

- ・広報よこはま 市版 : 1回
- ・広報よこはま 区版 : 33回
- ・その他広報誌 : 6回

実績リーフレット作成、自治会・町内会への説明

市民の皆様、横浜みどりアップ計画の取組の成果や効果、実績をわかりやすく伝えるため、事業報告書及び実績概要リーフレットを作成し、市連会・区連会への実績説明と、公共施設や駅に設置されているPRボックス等への配架を行いました。



広報よこはま
都筑区版
(2025年1月号)

エコチル横浜版
(2024年12月号)

横浜みどりアップ計画の
実績概要リーフレット

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

各種メディアを活用したPR

横浜みどりアップ計画を視覚的にアピールするため、市役所・区役所デジタルサイネージや交通広告等を活用した動画・静止画の放映を実施しました。

〈動画等〉

- ・18区役所デジタルサイネージ
- ・横浜市役所デジタルサイネージ
- ・横浜信用金庫のデジタルサイネージ
- ・関内駅北口デジタルサイネージ
- ・交通広告での放映：市営地下鉄車内LCD(液晶ディスプレイ)

〈ポスター等〉

- ・動物園、ウェルカムセンター、下水道水再生センター等での横断幕の掲出
- ・日産スタジアムへのPR看板の掲出
- ・市営バス等へのPR用ステッカーの貼付
- ・図書館でのポスターの掲出
- ・自転車駐輪場でのポスター掲出



関内駅北口 デジタルサイネージ
(中区)



よこはま動物園ズーラシア 横断幕
(旭区)

よこはまこどもみどりアップリーフレットを用いたPR

未来を担うこどもたちに横浜の緑について知ってもらいたいという思いから、こども向けに「よこはまこどもみどりアップ」リーフレットを作成しました。イベントでの配布や区役所などの施設での配架を行うなどPRしています。

横浜みどり税を活用して整備した公園等でのPR

横浜みどり税を活用して整備している工事現場や、整備後の公園などに、看板を設置して横浜みどりアップ計画をPRしています。



北寺尾六丁目サムエル公園
現地看板(鶴見区)



公園緑地整備
工事看板

イベントや区役所でのPR

里山ガーデンフェスタや農と緑のふれあい祭り等の市民向けイベントにブースを出展したほか、区役所や区民ホールにて、PRタペストリーを展示しました。



農と緑のふれあい祭り
(保土ケ谷区)



都筑区役所(都筑区)



よこはまこどもみどりアップリーフレット
(一部抜粋)

取組への工夫点・課題等

計画の周知や実績報告

区役所や財政局とも連携し、市連会・区連会での実績説明、デジタルサイネージでの動画放映、市民向けイベントブースを出展してのPRやタペストリー展示等を行い、「横浜みどりアップ計画」及び「横浜みどり税」の周知を行いました。

市民の皆様が「横浜みどりアップ計画」の取組についてご理解いただき、実感いただけるよう、引き続き、効果的な広報を工夫して進めていきます。

市民推進会議からの評価コメント

計画の周知や実績報告

広報や発信においては、情報の源流をどのように作り、それを様々な手法で市民に伝えるといった情報流通の戦略が非常に重要です。

広報を通じて、みどりアップ計画によりどのような恩恵を得ているのかという実感を市民にもってもらうことが大切です。実績数値を伝わりやすくする表現の工夫や、市民の声をたくさん拾うなど共感を得られるような定性的な表現も加えていくといいと考えます。

取組においては、教育現場などの他事業との関わりも大きいことから、こういったつながりを生かした情報発信について検討すべきと考えます。作成した「よこはまこどもみどりアップリーフレット」を学校の教材として活用してもらうなどして、教育現場で横浜の緑をテーマに考えてもらうような能動的な発信を行い、横浜の緑の取組への関心が広がること、理解と共感が深まることを期待します。

今後の進め方

計画の周知や実績報告

多くの市民の皆様がご覧になる広報よこはまをはじめ、様々なSNSや交通広告、現地看板など、様々な媒体を効果的に活用することで、幅広い年齢層の方々に、横浜みどりアップ計画の取組や横浜みどり税の使い道についてご理解いただけるような取組を進めます。

また、「横浜市の緑の取組に関するアンケート調査」を毎年度実施し、市民の皆様のニーズの確認、事業評価を継続して実施し、個々の事業の改善につなげます。

さらに、未来を担うこどもたちに、横浜の緑の魅力やみどりアップ計画の仕組みを理解してもらうため、2024年度に作成した「よこはまこどもみどりアップリーフレット」を効果的に活用していきます。一例として、教育現場とのつながりを強化し、子どもたちに横浜の緑についての関心と理解が進むよう取り組みます。

今後も伝わる広報を意識して取組み、横浜みどりアップ計画への一層のご理解と共感につなげます。

2024年度の事業・取組の実績一覧

端数調整により、合計値は一致しないことがあります。

取組 番号	計画内容	2024年度 執行額(百万円)		5か年 の 目標	2024 年度 実績
		総額	うち横浜 みどり税		
柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む					
事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り					
1	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り				
	緑地保全制度による新規指定	4,099	[974]	180ha	49.5ha
	保全した樹林地の整備			推進	推進
事業② 良好な森の育成					
2	森の多様な機能に着目した森づくりの推進				
	森の維持管理	689	[679]	推進	推進
3	指定した樹林地における維持管理の支援				
	維持管理の助成	137	[137]	750件	134件
事業③ 森に関わる多様な機会の創出					
4	森づくりを担う人材の育成				
	森づくりを担う人材の育成	11	[11]	50回	10回
	広報誌等での森づくり活動に関する情報 発信			20回	4回
5	森づくり活動団体への支援				
	森づくり活動団体への支援	10	[9]	175団体	36団体
6	森に関わるきっかけづくり				
	市内大学や関係団体などとの連携や 区主催による地域の森でのイベントの実施	52	[14]	180回	115回
	学校と連携したきっかけづくり			推進	推進
	ウェルカムセンターでの森のマナーアップ につながるイベント等			50回	10回
7	森の多様な楽しみづくり				
	市民の森の開園	4	[4]	5か所	0か所
	地域における多様な森の利活用			推進	推進

取組 番号	計画内容	2024年度 執行額(百万円)		5か年 の 目標	2024 年度 実績
		総額	うち横浜 みどり税		
柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる					
事業① 良好な農景観の保全					
8	水田の保全				
	水田保全面積	84	[47]	115ha/年	112.5ha
	水源・水路の確保			25件	3件
9	特定農業用施設保全契約の締結				
	特定農業用施設保全契約の締結	2	-	制度運用	制度運用

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組 番号	計画内容	2024年度 執行額(百万円)		5か年 の 目標	2024 年度 実績
		総額	うち横浜 みどり税		
柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる					
事業① 良好な農景観の保全					
10	農景観を良好に維持する活動の支援				
	まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援:	106	[10]		
	集団農地維持活動団体			60団体/ 年	57団体/ 年
	農地縁辺部への植栽			75件	23件
	農景観保全整備			40件	8件
	周辺環境に配慮した活動への支援:				
	環境配慮支援			25件	5件
緑肥作物等による環境対策	20ha			5.0ha	
11	多様な主体による農地の利用促進				
	遊休農地の復元支援	10	[10]	3.0ha	0.89ha
事業② 農とふれあう場づくり					
12	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設				
	様々なニーズに合わせた農園の開設 (以下、内訳)	334	[87]	19.5ha	3.38ha
	・収穫体験農園			10ha	2.94ha
	・市民農園			5ha	0.34ha
	・農園付公園			4.5ha	0.1ha
13	市民が農を楽しむ支援する取組の推進				
	横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施	30	-	450回	119回
	コーディネーター派遣			50件	12件
	市民農業大学講座の開催			175回	35回
	家族で学ぶ農体験講座の開催			30回	6回
事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進					
14	地産地消にふれる機会の拡大				
	直売所・青空市等の支援	44	-	285件	62件
	緑化用苗木の配布			125,000 鉢	27,084 鉢
	市内産花苗の公共施設等での活用			10件	2件
	情報発信・PR:情報誌などの発行			35回	10回
事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開					
15	地産地消を広げる人材の育成・支援				
	はまふうどコンシェルジュ育成講座の開催	5	-	5回	1回
	はまふうどコンシェルジュ・よこはま地産地消サポート店の活動支援			150件	37件
	地産地消フォーラムの開催			5回	1回
16	市民や企業等との連携				
	市民や企業等との連携	3	-	75件	15件
	ビジネス創出支援			20件※	0件
	学校給食での市内産農産物の一斉供給			推進	推進
	料理コンクールの開催			5回	1回
※2～5年目で各年5回ずつ実施する計画となっています。					

3 事業・取組の実績と評価・今後の進め方

取組 番号	計画内容	2024年度 執行額(百万円)		5か年 の 目標	2024 年度 実績
		総額	うち横浜 みどり税		
柱3 市民が実感できる緑や花をつくる					
事業① まちなかでの緑の創出・育成					
17	シンボリックな緑の創出・育成				
	緑の創出	20	[3]	5か所	3か所
	緑の維持管理			推進	推進
18	街路樹による良好な景観づくり				
	街路樹による良好な景観づくり	454	[454]	18区で 推進	18区で 推進
19	公開性のある緑空間の創出支援				
	緑化の助成	10	[6]	推進	推進
20	建築物緑化保全契約の締結				
	建築物緑化保全契約の締結	-	-	制度運用	制度運用
21	名木古木の保存				
	名木古木の保存	16	[15]	推進	推進
事業② 緑や花があふれる地域づくり					
22	地域緑のまちづくり				
	地域緑のまちづくり	50	[50]	35地区	7地区
23	地域に根差した緑や花の楽しみづくり				
	緑や花を身近に感じる各区の取組	85	-	18区で 推進	18区で 推進
24	人生記念樹の配布				
	人生記念樹の配布	18	[11]	40,000 本	6,915本
事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成					
25	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成				
	緑の創出	47	[6]	100か所	28か所
	緑の維持管理			推進	推進
事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成					
26	都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり				
	緑花による魅力づくり	518	[264]	推進	推進

取組 番号	計画内容	2024年度 執行額(百万円)		5か年 の 目標	2024 年度 実績
		総額	うち横浜 みどり税		
効果的な広報の展開					
事業① 市民の理解を広げる広報の展開					
27	計画の周知や実績報告	14	-	推進	推進

柱別・合計執行額

端数調整により、合計値は一致しないことがあります。

	2024年度 執行額 (百万円)	うち横浜 みどり税 (百万円)
柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	5,001	[1,827]
柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	617	[154]
柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	1,218	[810]
効果的な広報の展開	14	-
合計	6,850	[2,791]